



1 2 3 4 5 6 7 8 9 250 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 20



昔於此四未載三月廿四日金時暖氣而海西籍某其求交割頃佐濃國七郡雷鳴の如響
 大地震動而下所民等時々震憤一雷も出たて焼死民死數万人因利屏川路
 更級郡におお岩倉孫瀨山櫻井虚空藏山高六十六丈余横幅下丁程の坊ながら摩訶
 押出埋立川幅を二の渚水を留多樋川上水間湖多のおと一丹波島渡の
 水濁々陸のこし一清良の跡をぬけり其分山にお能とも愛利社通路難半坊有
 於多野山海潮に交りて水一通然も数日水湛一坊も押破け下民家々難の
 憂難斗上棟に水加り年々急の事ありてお狼煙津島難有之
 四月十三日申下割一府も水抜出浪高も度敷斗大水怒雷鳴の如く
 天地も響き大山の岩裂けも一虚空一雲霧のみと狼煙發もや
 つつと文も馬もあつ川舟も急ぎ急ぎ曲り哉後國七郡も
 漂流溺死者々の數多といふは是れも其故桑略記曰
 光孝天皇仁和三年未載七月晦日信濃國六郡大地震而大山
 拔動兒跡虛佛比男女生百萬一尺渚地生五々自仁和三
 丁未至弘化四丁未あつ九百六十一年の如斯く天災を
 見唯當國の人を己の爲る善光寺に衆開衆余も等
 法國の衆人衆を己の爲る鳴降河にあけ可ふ要事有奉
 而く余善光寺に衆開衆余も等其處通康が故といふも
 無恙是神佛の驗一難有也聖瑞威應也一今追滅三國世
 變の聖佛信を可信給と聲もほの響く事多と以て
 是れを驗も是れを教見も人々知れまほし



信濃國
大地震

後世記錄
微細色分繪圖



0011.842521-2

昔於紀元前載三月廿四日會諸陵氣高海而龜峯其東亥刻頃作濃國七郡雷鳴の如響
大地震動云々據下五所民家即時震潰一町より出たて焼死片死數千人因に犀川筋
更級郡山内岩倉孫瀨山櫻井盧盧藏山高六丈余横幅二丁程の場而板瀬社摩川
押出ー埋立川隅をへ切深水を留る瀧川上水濁湖多の如し丹波島渡の
水濁々陸のこと一湧泉水陸をわたり必其分山より北に地震花通路經峯場所有
於新野所山角崩し之を水より交通然る教目水瀧一時水押破り惟より下民家水難の
憂難舟水上様々水切の岸より舟の事ありて水浪浮法又難有之
四月十三日申下刻一時水抜出ー浪高き度教目水波怒雷鳴の如く
天地亦響き大山の山崩れ云々一虚空一忽雲霧のみく浪煙發せや
之れも文亦馬あふ川中云々糸子曲川哉後園也民家悉
漂溺一溺し死者をの數多といふ云々古傳云々枝桑崎記曰
光孝天皇仁和三年未載七月晦日信濃國六郡大地震而大山
拔動龍塔盧佛北男女半死云々一深坑半丘云々自仁和三
丁末至弘化四丁末、あふ九百六十一年来如斯天災云々
見唯當國の人云々云々善光寺如東開羅云々等
諸國の嶺人救是云々云々死矣嗚呼何云々於可云々受災中事
云々云々善光寺如東御本堂無難云々其後通康云々教目一人も
無恙是神佛の驗一難有吏監瑞威應云々云々追滅三國世
數の靈佛作云々可信給遠く年々云々智々寺云々云々以云々
是云々云々尚云々云々云々見云々人云々云々云々



信濃國
大地震

後世記錄
微細色分繪圖



001884-2(3)-1

昔弘化四年三月廿五日會時暖氣為海而猛暴其東支刺頃作濃國七郡雷鳴の如響
大地震多々城下五所民家即時亦震潰一所より出火焼成序死數百人同の聲の節
更級郡山小舟岩倉孫瀬山櫻井上座藏山高六丈余横橋下丁程の物分被崩れ聲の
抑々一埋立川隔を切源水を多量に上水河に漏れ多の事と一丹波島渡の
水濁り陸の事一清原公時を以て其の事と云はれしに震動は通路難事物有
おそれ所山崩れ落り水より通路難事水濁り一清原公時を以て其の事と云はれしに
憂難事上謀りて水河の岸より多量の事と云はれしに震動は通路難事物有
四月十三日中下割一時水板出浪高五丈教子水板出浪高の事と云はれしに
天地亦震大山の山崩れも亦一處空一處雲霧のみと云はれしに
つやも又不思議なる事と云はれしに後國七民家亦
震潰一層死者の數多しと云はれしに
光孝天皇仁和三年七月七日信濃國六郡大北震而大山
板崩れ城潰れ北男半死と云はれしに
丁未至弘化四年三月廿五日會時暖氣為海而猛暴其東支刺頃作濃國七郡雷鳴の如響
見唯濃國の人と云はれしに
法蘭西の國人と云はれしに
無事是解の事と云はれしに
彼の聖佛何年可信給と云はれしに

